

第17回独立行政法人契約監視委員会

令和6年7月
独立行政法人経済産業研究所

1. 日時

令和6年5月27日(月)

2. 場所

独立行政法人経済産業研究所会議室

3. 出席者

(1) 委員

白山委員長、向委員、紺野監事、鈴木監事

(2) 独立行政法人経済産業研究所

深尾理事長、池山理事、吉澤総務ディレクター、
大野総務副ディレクター、齋木総務専門職

4. 審議内容

経済産業研究所の契約状況について

・令和5年度の契約内容及び契約方式の状況

5. 概要

(1) 開催挨拶

冒頭、深尾理事長から開催挨拶が行われた。

(2) 経済産業研究所の契約状況について、事務局から説明後、質疑が行われた(主な質疑については別紙参照)。なお、個別の契約に対する指摘はなかった。

(別紙)

質問・意見	回答
■競争性のない随意契約理由及び契約価格の妥当性	
<p>< 執務室整備関連 ></p> <ul style="list-style-type: none">・「モバイルノート PC キットニング作業および PC-LAN 回線の無線 LAN 化業務請負契約」 契約先:株式会社日立システムズ・「大同生命ビル(分室)工事請負契約」 契約先:株式会社 竹中工務店・「自分への思いやりを育むことによって職場ストレスを軽減するための WEB 心理教育の有効性を検証する研究(ランダム化比較試験)」に係る共同研究契約 契約先:国立大学法人千葉大学	
<ul style="list-style-type: none">・ 無線 LAN 化請負契約及び分室の工事請負契約については、契約に当たり価格交渉は行われたのか。・ 工事に係る契約での間接経費的な一般管理費の割合は、どの程度か。・ 共同研究契約については、文理融合型研究との説明もあったが、研究のため実施したインターネット調査が、職場ストレスのトラウマ的な記憶のつらさに悩む勤労者を対象としたものとなっている。この調査結果から得られるデータと経済産業研究所が遂行する経済産業に係る研究とは、どのような関係があるのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 2件の契約に関しては、見積段階で価格交渉を行い、値引き後の契約金額となっている。・ 本件工事に係る諸経費は直接工事費の15%となっている。・ 鬱状態の労働者が増えることに伴い、労働生産性への影響や企業側にも大きなコスト負担が生じることになる。この状況が日本全体の経済社会の問題として、どれくらい深刻かという観点から、日本の経済産業政策上も非常に重要であるということをこの研究によって議論して行きたいと考えている。
■一者応札・応募となったもの全般	
<ul style="list-style-type: none">・ 一者応札となった案件の中には、公告開始日から参加の締め切り日まで比較的長いものや16日や17日などとやや短いと感じるものがある。調達前段階の仕様の検討から入札手続きに要する期間、必要となる履行開始時期など、全体的な観点からも	<ul style="list-style-type: none">・ 調達に係る全体的なスケジュール管理は、調達部署に任せきるのではなく、総務でも関与していくことが必要であると考え、対応に努めます。

<p>スケジュール管理に留意する必要があるものと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> また、一社応札に係る説明資料については、別々の資料となっているので、予定価格積算時の参考見積書徴取社数、入札説明会開催の有無とその参加者数、入札関係資料配付者数等、各契約案件の情報が一つの資料で一覧出来るように工夫をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の内容に関しましても、改善いたします。
<p>■その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 当該年度に締結した情報システム系の随意契約の内容に関しては理解しているが、PC-LANなどシステム系の調達では、競争入札で選定し、先行した契約に連動する形で随意契約となったり、一般競争になったりケースバイケースであると思うが、単年度毎の契約で考えるのではなく、当該システムの契約をトータルで見た時に、果たして全体として適切な発注になっていたか、ということが批判的に見られることを留意する必要があることを、今後は踏まえた一般的なコメントとして申し上げたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本日、ご指摘・ご示唆頂きました事項につきましては、全体的なスケジュール管理も含め、至急対応いたします。